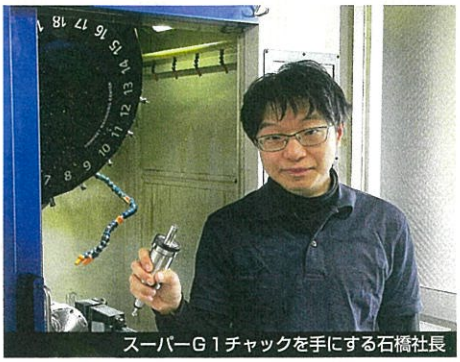
「比較検討では、剛性や面粗度の高さに加え、工具寿命が最大で20%伸長。スーパーG1チャックが今では30本に」

石橋賢一社長インタビュー　— ユキワ精工ツーリングユーザー訪問 —

不良率ゼロに－を現場の課題に設定

「人任せから仕組みづくりへ」　創業65周年迎えた石橋製作所（東京都・八王子市）


スーパーG1チャックを手にする石橋社長

仕事内容は空圧機器関連軸に、半導体、医療機器、監査機器、釣り具（リール部品）商用車の改造部品など

都内中心に取引企業20社

創業は1958年と言うから、石橋製作所は今年で65周年を迎えることになる。

昨年11月に3代目となった石橋賢一社長は「祖父が府中で部品加工業を立ち上げ、平成の初めごろに私の父の代で八王子に移転した。仕事内容は、祖父の時代からの空圧機器関連部品がボリュームでは半分を占め、残りは半導体をはじめ、医療機器、検査機器、釣り具（リール部品）、商用車の改造部品等から成る。取引企業は都内中心に20社くらい」と説明してくれた。

被削材はアルミが最も多く、他に真鍮、ステンレス、鉄などで占め、受注は1ロットで10個～100個、ボリュームゾーンは1ロット30個程度だそうだ。

ヤマザキマザックのインテグレックス「j-200S」でも、スーパーG1チャックが活躍する

「コロナ禍前の2019年レベルの仕事量には、あと一歩。とは言え、品質への要求レベルは年々、高まってきており、受注先からの指導が入ることも。不良率をゼロへ、人任せから仕組みへの落とし込みが課題に挙がっている」。

ブラザー工業製スピーディオ導入時にスーパーG1チャック10本購入

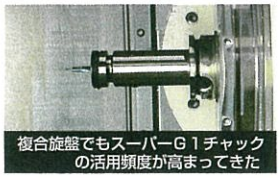
ユキワ精工製ツーリングとの付き合いは、八王子に移転する前の府中時代に遡る。

「先代がブラザー工業のタッピングセンタ導入時に、取引していた商社の方に勧められ、以来、ブラザー工業のタッピングセンタには基本的にユキワ精工のツーリングが搭載されている。私自身が直接、選んだのは、2018年に生産性向上を狙って、ブラザー工業のスピーディオ導入を図った時で、径違いのスーパーG1チャック計10本を同時購入した」。

もちろん、導入に当たっては他社製と比較、検討した。

「剛性や面粗度の高さに加え、工具寿命で最大20%の違いが出た。アルミではわかりにくい場合でも、ステンレス加工では、はっきりと差が出た。今では30本のスーパーG1チャックを活用している」そうだ。

スピーディオでは、多様な部品加工をこなしており「剛性のあまり高くない機械ほど、ツーリングによる差を実感する」との感想も。


複合旋盤でもスーパーG1チャックの活用頻度が高まってきた

また、翌年2019年の設備では、ボリュームのある空圧機器関連の部品加工の効率化を図るため、ヤマザキマザックの複合旋盤、インテグレックス「j-200S」を現場に据えた。

ヤマザキマザック製インテグレックス「j-200S」にも搭載

「仕上がり面がきれい。今後は工具の節約も期待」

「当初、ツーリングは他社製オンリーだったが、スピーディオでスーパーG1チャックの効用が確認できていたので、今では半分までを占める活用状況となっている。他社製と比べ、仕上がり面がきれい。この複合旋盤は、量産対応なので、今後は、工具の節約に繋がっていくことを期待している」。

スピーディオに30本、インテグレックスに20本の合計50本のスーパーG1チャックがこの現場で活躍している勘定になる。

「次回の導入設備も複合旋盤を計画している。ツーリングは、スーパーG1チャックを軸に検討していきたい」と語りつつ、ユキワ精工に対し「小径加工で、コレットのセンタースルー、サイドスルーのバリエーションがあればありがたい」との要望が挙がった。

ユキワだけ精度を保証！しています。

精度をとことん突き詰めると、コレット式に辿り着く

高精度ツーリングシステム
スーパーG1チャック

YUKIWA　ユキワ精工株式会社
スーパーG1チャック　検索
http://www.yukiwa.co.jp/
Precision Grade No.1 G1 Super G1 Chuck
本社・工場／〒947-0052　新潟県小千谷市千谷2600番地1　TEL.0258-81-1111（代）　FAX.0258-81-1112
営業所／東京、名古屋、大阪、中国（上海）、U.S.A.